

羽田増便に伴う都心上空縦断の新ルートの情報公開と都民の安全を求める請願

2018年 月 日

東京都議会議長 尾崎 大介 様

羽田増便に伴う都心上空縦断ルートの影響を考える都民の会

代表 行成恵美子

新宿区中落合 2-15-12-504

【請願願意】

東京都は、国・国土交通省に対し、羽田空港の国際線増便計画について、以下の点を示し、慎重な計画策定と都民への説明責任を果たすよう働きかけてください。

- 1、落下物対策と事故が起きた場合の責任体制
- 2、騒音の影響を明らかにすることと、その対策
- 3、飛行機の着陸間隔が狭まることへの安全対策
- 4、着陸時の管制官指示が2度の切り替えを要することでのパイロットの負担の影響

【請願理由】

国は2020年の実施をめざし羽田空港の国際線増便計画を打ち出しています。この計画は、これまでの関係自治体、議会、住民が合意している「海から入って海から出る」という原則を大きく変えるものです。この合意は騒音と落下物の回避策として決定されています。しかし、都心縦断の新ルートは、そのどちらも都民生活への影響が十分に検証されていません。南風時の午後3時から7時に、1時間当たり44便が東京都心上空、練馬、板橋、豊島、中野、新宿、渋谷、港、目黒、品川、大田と高度を下げ、品川区大井町駅付近は頭上300mという低さです。また、この都心ルートは、最も事故が起きやすいと言われる着陸前8分間に該当します。パイロットが着陸体制に入る集中力を要する数分間に一部横田空域を通り、周波数を切り替えて横田基地・羽田空港双方の管制官と交信するという複雑な作業が、安全運航に影響することを懸念します。北風時の離陸ルートにおいても江戸川、江東の上空をルートとする増便計画があり住民への影響を懸念します。

落下物にはカウントされない部品脱落の件数が過去5年間で269件と国土交通省は報告しています。都心部は多いところで1km²あたり2万2千人の超人口過密地域です。都民の不安は計り知れません。安心・安全の東京の維持、都民の生活を守るためにも、さまざまな影響について明らかにすることができなければ、この実施計画の再検討を求めるものです。

氏名	住所

請願署名における個人情報、本請願以外には利用いたしません。

署名の一次〆切 2018年2月末、二次〆切 2018年4月末